
罪の在処(ありか)

如月乙姫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
罪の在処^{あじか}

【Nコード】
N3609D

【作者名】
如月乙姫

【あらすじ】
ベルモットの罪の在処^{あじか}。20年前のジョディの事件を振り返って思う。あまりオリジナリティはありません。

ザアアアアアア...

雨が降っていた。

バンッ！！

異様な音。目の前で男が血まみれで倒れた。

私は男の眼鏡をもてあそんだ。

カチャ...

私は振り返った。

「Who are you？」

（貴方、誰？）

7、8歳ね女の子。

私は眼鏡を持ったまま、シートと唇に手を当てながらその子に近づいた。

「It's a big secret...

I can't tell you...」

（秘密よ秘密：教えられないわ）

「A secret makes a woman woman...」

（女は秘密を着飾って美しくなるんだから）

女の子は私の握った眼鏡を見た。

「Those are my daddy's glasses」

（パパの眼鏡）

「Oh, sorry...」

（あ、ごめんなさい...）

その子に眼鏡を渡した。

その子は倒れた父親を見ながら...

「How is he doing？」

Is he asleep already？」

（パパどうしたの？もう寝てるの？）

「He promised me a bedtime story...」

（寝る前に絵本、読んでくれるって言ってたのに…）
幼いその子には父親が『死んでいる』ではなく『寝ている』に見え
たらしい。

「So, will you be with daddy until he wakes up?」

（じゃあパパが起きるまでそばにいてあげてくれる？）
「Yes!」

（うん！）

女の子は父親のそばに行った。

私はその場を離れた。

外に出て家に火をつけた。

（20年前の事件）

死んだのはFBIの男とその妻の二人。

そして、その娘が私の前に現れた。

まさか、あの時の女の子だったなんて…

父親の後を次いで私を追っていたらしい。

健気よね。

私は罪の重さをしる事になる。

私の罪の在処は^{あつか}どこなんだろう??

答えなんて見つからない…

分かっているのに…

探し続ける…

きつと、あると信じて…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3609d/>

罪の在処(ありか)

2010年11月23日22時50分発行